

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年7月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694400021
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	ひだまりの家 こもれび
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈徳辺1656 (電話) 0995-26-1138
自己評価作成日	令和元年6月7日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年7月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

新卒者の入社で若い職員での新体制となった利用者との関係も教えてもらう場面も多くなり、活気に溢れた環境となっている。
職員、利用者共に支え合う生活になっており、新人教育も含め日々チームとして取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは伊佐市菱刈の幹線道路から入り、周りのはのどかな田園風景に囲まれた閑静な地に位置し、同敷地内には小規模多機能ホームが併設されている。
地域とは開設当初から交流があり、ホームの行事には地域住民の参加も多く、地域と合同の運動会は地域も楽しみの行事のひとつとなるなど関係性が出来、信頼関係も築かれている。
管理者及び職員は、理念に沿って利用者の尊厳や思いを大切に意向の把握に努め、利用者が笑顔に満ちた日々を過ごせる支援に取り組んでいる。利用者の健康状態に配慮し、希望に添って外出やレクリエーションの計画に取り組み、個別の支援も積極的に行い、利用者のリフレッシュを図っている。管理者は日頃から職員との信頼関係や協力体制の構築に努め、意見要望は気軽に言い合える関係を保つ事でサービスの質の向上を図っている。スキルアップを図る研修の実施や、ケアに対する助言・指導を積極的に行い、勤務シフトや研修には可能な限り本人の意向を反映させる等、職員の意欲向上および働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	新しい職員への周知も含め、全員で確認し振り返りつつ行っている。	理念に沿った年間目標を1月の職員会議で決めている。理念と年間目標をホール内に掲示し、目に付く事で振り返りの意識付けとなっている。職員会議で理念を共有し実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	気軽に声を掛け合い寄って頂けるよう心がけている。	自治会へ加入している。地区老人会とひだまりとの合同親睦会を毎年行ったり、ホームの敬老会へは近隣の方を招待している。また法人主体の運動会は、今では集落の運動会となり地域の楽しみになっている。近所の方に草を刈ってもらったり、小学校からテントを借りたお礼にと雑巾を縫って寄付する等、円滑な交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	要望や必要性に対応できるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の現状を伝え意見交換を行い取り組みを行っている。	2ヶ月毎に定例化された会議には、行政・民生委員・地域住民・家族が参加し、年2回は花見と敬老会の行事と同時にする事で家族の参加も多い。会議は現状報告・行事報告・ヒヤリハットの事例報告等を行い、参加者とは熱心に意見交換をしている。職員は協議内容を会議録等で共有し、サービスの向上に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議や地域密着の会など活用したりして関係づくりをしている。	市の担当者とは、運営推進会議でホームの現況を理解してもらおうと共に、介護保険の認定や更新各種手続きや相談を行い、助言指導を受けるなど日頃から協力関係を築いている。市主催の研修や地域密着型連絡協議会に積極的に参加し情報交換に努めるなど、協力関係は築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	行わないことを伝えその都度グレーとなる事柄ではないか？等の振り返りを行い確認している。	身体拘束については法人で身体拘束廃止委員会を3ヶ月毎に開催して、事例研修や意見交換などで理解を深め、拘束のないケアの実践に努めている。昼間は施錠は行わず職員は連携して利用者の見守りや対話・寄り添いに努めている。不適切な言葉遣いには、職員間で注意し合うなど日頃から意識しながら実践する事を心掛けている。	
7		○虐待の防止の徹底 令和元年6月29日	日々、確認や振り返りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域密着の会で勉強会を行ったが、施設での事例はない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時に説明をし、わからない事などないか確認をし、同意を頂いている。その後必要な事などは家族会で説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>その都度声掛けを行い、必要に合わせて電話をするなどして対応している。</p>	<p>日頃から見守りや寄り添いに心がけ、利用者の意見要望を会話や仕草・表情で把握に努めている。家族からは面会時や運営推進会議また家族会等で聞き取り把握している。出された意見等は共有し、職員で協議して運営やサービスの向上に取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者が中心となり、職員からの意見にはその都度耳を傾け、ボトムアップが行われるようにしている。</p>	<p>意見はその都度出してもらったり、職員会議や必要に応じて話を聞いている。新人職員からの意見や要望で「救命対策への不安」を、研修を受けてもらう事でケアにつないでいる。管理者は日頃から職員が気軽に意見を言いやすい環境づくりに心掛けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>定期的に考課表を用いた自己評価と所属長評価を行い、多面的かつ適正な条件・環境の整備に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部で行われる研修への参加の機会をもうけたり、働きながら資格取得を目指す職員に対し、資金的な支援も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡協議会に参加し、保険者や他事業所との協議・情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>表情などを見ながらしっかりと寄り添い、困り事や不安解消のために努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>しっかりと聞き取り、答えを伝えるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談の段階で必要なアドバイスをしたり、制度の説明等を心がけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日常的に教えてもらったり、一緒に行ったりする場面が多くなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族から情報を頂いたり、施設での現状を伝えたりし、共有しながら支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	関係が薄くなっているが、可能な限り対応に努めている。	利用者の生活歴や家庭環境等を把握し、馴染みの関係の情報を共有している。地域の方の面会が多く、来訪時にはゆっくりと話せる様に配慮している。希望があれば可能な限り外出等の対応に努めている。遠方の家族には近況を伝え、電話の取次ぎを行うなど関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入りコミュニケーションがスムーズに行くよう取り組んでいる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	しっかりと聞き取り、把握し、実現へ取り組んでいる。伝えられない人にも時間をかけて向き合い、本人に沿った方を検討している。	利用者の思いや意向を日頃の会話や表情・仕草等で把握に努め、その人らしい生きがいのある暮らしを支援している。職員は利用者の気持ちになって「困ったなと思った時に」のシートに記入し、日常的に情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・関係者の話を参考にして取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全員で情報の共有を行い連携を取りながら取り組んでいる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日のミーティングで意見を出し合っている。	介護計画は利用者・家族からの意向や、主治医の意見や助言を把握して、モニタリングやミーティング時の意見交換を基に、利用者主体のきめ細やかな計画を作成している。状態の変化に伴う計画の見直しや修正も適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送りや気づきシートを使用し、情報の共有ができるよう取り組んでいる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>多様な取り組みができるよう、法人で必要に応じた検討をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>可能な限り活用できるよう取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医との関係を大切に、適切な医療を継続できるよう取り組んでいる。</p>	<p>各利用者の入所前の病歴や受診状況等を把握し、利用者や家族が希望する医療機関を主治医としており、家族と連携して受診を支援し訪問診療も実施している。協力医療機関との医療連携の体制も構築されて、利用者及び家族の安心につながっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪看を活用し、必要に応じたアドバイスや協力を得ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>情報の提供を行い、スムーズに治療ができるよう早期の退院になるよう、協力を頂き、連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>段階に応じて説明を行い、関係者の意思確認を行い、積み重ねている。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、利用開始時に説明し利用者及び家族の理解を得て「意思確認書」の取り交しもあり、家族会で確認している。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族及び関係者で話し合い可能な限り、希望に沿った支援体制で取り組んでいる。看取りの研修も行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルや申し合わせは行っているが、不安な声も多く、救命訓練の実施を検討。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>訓練やマニュアルを通して確認している。</p>	<p>消防署立ち合いで年2～3回と自主訓練を行っている。同法人の敷地内にある事業所と地域住民と行っている。地域との協力体制は築かれており、地域（校区）の炊出し訓練へも参加している。災害時には、職員が来れない事を想定して、人数を増やし泊まり込む等、職員体制の強化も出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々、振り返りや声を掛け合って支援している。	プライバシーの確保や個人情報保護についての研修は計画され、外部研修は職員へ周知し、ケアの振り返りで認識の共有が図られている。排泄や入浴、衣服の着替え等に関しては、言葉遣いや羞恥心に特に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	必ず問いかけ返事を聞くようゆっくりと向き合っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者優先を申し合わせながら取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	意思表示の少ない人にもなるべく本人らしさを考え、支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な限り一緒に行い、一緒に食べ楽しみの時間となるように取り組んでいる。	利用者の好みと栄養バランスに配慮しながら献立に反映させている。地域からの旬の食材の差入れを頂き、季節を感じ取っている。力量のある利用者の中には包丁を使い野菜を切る方、テーブル拭き、配膳等役割分担を決め、一緒に出来る事を支援している。弁当持参の外出や敬老会・運動会、誕生日食も提供し食を楽しむ支援をおこなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チームで声掛けを行い、記録を確認しながら行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に応じて対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その都度検討し、本人に合わせて対応している。	排泄チェック表を活用して、不安や羞恥心にも配慮した誘導や声掛けに努め、可能な限りトイレで排泄出来るように支援しているが、職員は排泄チェック表に頼らず利用者のしぐさ・表情から排泄リズムを把握し支援している。入所時よりオムツが軽減された利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人一人の状況確認を行い、支援内容を確認し、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	確実に意思の確認をし、本人のペースでの支援を行っている。	毎日の入浴も可能ではあるが、体力の低下に伴い、健康状態に配慮しながら、週2回ほど自己決定での入浴を支援している。利用者の希望や状態に応じて、足浴や清拭、シャワー浴等に変更している。入浴後は水分の補給や皮膚疾患の処置、また保湿クリームを塗布している。入浴剤を利用する等、入浴が楽しめるように取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースに応じて、苦痛のないよう取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ボードを活用し、必要な事は共有できるよう書き込みをするなどして対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	人に応じて体調に合わせて、一緒に行いながら支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の機会が少なくなっており、何か支援ができないか検討している。	日頃の会話等から利用者の外出への意向を把握し、天候や健康状態に配慮しながら周辺への散歩やドライブ、一時帰宅墓参り等に家族と協力して外出支援している。年間外出計画もあり、季節の花見やソーメン流し、近隣の観光地へと体調に考慮して外出を工夫し取り組んでおり、利用者の楽しみとなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	家族の管理		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	それぞれに合わせて可能な限り対応している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	温度・湿度等温度計や参考表を確認しながら調整をし、季節の飾り物や花など変えている。	リビングは利用者が季節を感じながら過ごせるよう、花や手作り作品、行事での写真が飾られている。台所からは調理の音や匂いが感じられ五感の刺激となっている。空調・衛生・整頓にも配慮されており、利用者はソファやテーブル等好みの場所で、居心地よく過ごしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ソファの位置を変えたり、季節に応じて利用者に応じて工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人に合わせて家族と相談しながら行っている。	利用者が家庭同様に過ごせるように、家族写真や手作り作品を飾ったり、仏壇・位牌・扇風機・ラック・タンス等を持ち込み、自身の作品も飾りその人らしい和やかで居心地の良い居室となっている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	見直しの必要な所もあり、検討している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		令和元年6月29日	4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない